

ひだまり

Japanese Red Cross Shimoina Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

下伊那赤十字病院広報誌

vol. 76

2019 5月 発行



新人職員ひとこと

- 安野 美香（看護師）〔前列左〕諏訪の専門学校を卒業し、4月から参りました。分からないことばかりですが患者様にあった看護を提供できるよう頑張ります。宜しくお願いします。
- 小嶋 春香（看護師）〔前列中〕名古屋の専門学校を卒業し長野に戻ってきました。地域の方、患者様に寄り添った看護ができるように頑張りたいと思います。
- 渡邊 末紀（作業療法士）〔前列右〕学生実習でこの病院にお世話になり、東京の大学を卒業し長野に戻ってきました。自分のキャラを活かして明るく精一杯頑張ります。よろしくお願いします。
- 伊藤可奈子（看護師）〔後列右〕諏訪から来ました。慣れないことが多いですが、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。
- 原 由美子（看護師）〔後列中右〕趣味は読書とインコの世話です。心ある看護で患者さまのお役にたてるよう頑張ります。
- 松村みどり（介護福祉士）〔後列中左〕昨年6月より療養病棟でお世話になっています。寄り添った介護ができるよう努めていきたいと思っています。宜しくお願いします。
- 杉戸 千香（看護師）〔後列左〕1年ほど北海道で遊んでいましたが、今年の11月からお世話になっています。笑顔だけが、取り柄です。宜しくお願いします。

睡眠時無呼吸外来をはじめました



閉塞性睡眠時無呼吸症は、上気道（のど）の狭窄により夜間睡眠中にたびたび呼吸が停止する疾患です。

睡眠がたびたび阻害されることにより、昼間の過度の眠気や居眠り運転による交通事故の危険が増し、呼吸障害による心臓や各臓器への負担から、高血圧・心臓病などのさまざまな合併症を引き起こすことがわかってきております。

決して珍しい病気ではなく人口の数パーセントが罹患しているといわれております。当院耳鼻いんこう科では睡眠時無呼吸外来を4月から新たに始めました。

“睡眠中のいびき・無呼吸、夜中に何度も目が覚める、昼間の眠気が強い”

…などの症状がある方は専門外来受診をお勧めいたします。

日時：毎週木曜日 14:30-16:30

内容：睡眠時無呼吸症候群の検査診断、CPAP 治療など



PSG検査



CPAP治療

※詳細は病院ホームページからご覧いただけます。

http://shimoina.jrc.or.jp/clinical_department



耳鼻咽喉科専門医
気管食道科専門医

横田 陽一



睡眠中に無呼吸を繰り返す方は**病気**です

私たちは寝ている間の無呼吸は気付くことができません。このため検査・治療を受けていない潜在患者がいると推計されています。

この病気が深刻なのは、寝ている間に生じる無呼吸が、起きているときの私たちの活動に様々な影響を及ぼすこと。気付かないうちに日常生活に様々なリスクが生じる可能性があるのです。

当院では横田医師を中心としたチームスタッフで貴方の悩みを解決します。是非ご相談ください。

第22回日赤健康まつり

開催日時：令和元年6月22日（土）10:00～15:00

毎年好評の『子どもお仕事体験』。手術体験、内視鏡体験、超音波検査体験など病院の仕事が体験できちゃうチャンス！もちろん『無料健康検査』も行いますよ。

ステージでは、小中学生の吹奏楽、合唱、ダンス、感染管理看護師『ウイルスバスターズ』による人形劇、内科 栗原医師による『医療講演』もあります。

軽食販売、スタンプラリーなどその他の企画も盛りだくさん。

ご家族で是非ご来場ください。職員一同お待ちしております。



■ 消火訓練を行いました。

2月26日と3月5日の夕方、防災センター南側駐車場において職員対象の消火訓練を行いました。

今回、小作商会の方から消火器の取り扱い方法・消火栓の使用法などの説明を受け、初期消火方法の再確認と重要性を学びました。実際に火をつけた鉄板トレイに向かい消火剤を噴射したり、的に当たる様に水を噴射する訓練では、なかなか火が消えなかったり、狙った場所に当たらなかったりする職員もありましたが、真剣に訓練に取り組んでいました。日本は地震列島と言われ、南海トラフ地震がいつ起こるか分かりません。そんな災害時、火災が発生した場合にも慌てず初期消火が出来る様に、今後も訓練を重ねて行きたいと思いました。



■ 防災・減災プロジェクト ～私たちは、忘れない～

東日本大震災から8年、日本赤十字社では、「震災を語り継ぐことで、亡くなられた方や生活を悼み、そしてこれから起こり得る災害に備えて一人でも多くのいのちを救いたい」という思いをもって、「私たちは、忘れない」のメッセージを広める防災・減災プロジェクトを展開しました。

当院では、3月1日より31日まで全職員がキャンペーンバッジを着用したほか、正面玄関にパネルやパンフレットで当時の状況を説明しました。

私たちは、日頃から災害に備えておくことで、災害時の被害を最小限に抑え、大切ないのちを守る活動を、これからも続けていきます。



若しむらびとを、救い続ける。

東日本大震災から8年、日本赤十字社では、「震災を語り継ぐことで、亡くなられた方や生活を悼み、そしてこれから起こり得る災害に備えて一人でも多くのいのちを救いたい」という思いをもって、「私たちは、忘れない」のメッセージを広める防災・減災プロジェクトを展開しました。

当院では、3月1日より31日まで全職員がキャンペーンバッジを着用したほか、正面玄関にパネルやパンフレットで当時の状況を説明しました。

私たちは、日頃から災害に備えておくことで、災害時の被害を最小限に抑え、大切ないのちを守る活動を、これからも続けていきます。

日赤活動資金へのご御協力を、よろしくお願いします。

赤十字運動月間 5.1(wed)～31(Fri)

赤十字運動月間 検索



日本赤十字社 長野県支部
Japanese Red Cross Society

下伊那赤十字病院

診療案内

令和元年 5月1日

管 理 者		病 院 長 網 野 章 由					
診療日及び担当医師	診療科		月	火	水	木	金
	内 科	内科一診	栗原章浩	細田昌良	栗原章浩		栗原章浩
		内科二診	網野章由	網野章由	細田昌良	網野章由	細田昌良 呼吸器外来（予約制）
		総合診療科	伊藤 篤			伊藤 篤	伊藤 篤
	小 児 科		岩波利和	岩波利和	岩波利和	岩波利和	岩波利和
	外 科	消化器外科	森下 浩			森下 浩	
		総合診療科 乳腺・甲状腺・肛門		櫻井道郎	櫻井道郎		
	整 形 外 科		柴田浩範 （10時から）	柴田浩範	柴田浩範		柴田浩範
	産 婦 人 科		山田智子 （9時から）	施 顕璋 （9時から）	施 顕璋	施 顕璋	施 顕璋 （9時から）
	耳鼻いんこう科		横田陽一	岩下利恵	横田陽一	岩下利恵 横田陽一	横田陽一 （第2～5週のみ）
	泌 尿 器 科				午後のみ 第1・3・5 小林 （午後 2:00～4:00） 受付 正午～4時まで）		
	皮 膚 科				菅谷恵美 （診察 8:30～12:30）		
	眼 科				河西広志 （8:30～11:30） 受付 11時まで		
	専門外来	*内科（心療）木下守（第2金曜 午後 1:00～1:30） *のみこみの外来（予約制）細田昌良（毎火曜午後 1:00～） *消化器外科外来 森下浩（第2・4金曜 午後 2:00～4:00） *耳鼻いんこう科外来 午後の診察は予約制です。（当日予約可） *めまい外来 横田陽一（毎木曜 午前 8:30～11:30）					
休 診 日		土曜、日曜、祝日、5月1日、12月29日～1月3日（年末年始）			受付時間		午前 8 時 00 分～ 11 時 30 分
診察時間		午前 8 時 30 分～正午まで					

☆都合により休診・代診等変更になる場合もあります。

☆緊急対応についてはご相談ください。

救急法講習会が開催されます

救急法【基礎】講習会

思いがけない事故や急病になった人を手当する「救急法」講習会を開催します。
正しい応急手当の知識と技術を身につけ、実践できるように、講義や実技を交え、
初めての方にもわかりやすく講習いたします。

1. 日 程 6月29日(土) 8:30～13:00まで
2. 場 所 下伊那赤十字病院 防災会議室
3. 内 容
 - ・けが、傷の手当の基本
 - ・人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）の方法
 - ・AED（自動体外式除細動器）の使い方
 - ・気道遺物の除去
4. 定 員 30名
5. 対 象 満15歳以上の方
6. 資 格 最後日の検定試験に合格した方に、
「救急法基礎講習認定証」（5年有効）を発行
7. 費 用 1,500円（教材費、保険料）
8. 持ち物 実技のできる服装、筆記用具、昼食
9. 申し込み、問い合わせ先
別紙申込み書にて6月21日(金)までにお申し込みください。
(FAX可)
下伊那赤十字病院（松川町元大島 3159-1）
TEL 0265-36-2255 / Fax 0265-36-7210
検査課 有賀
医療社会事業課 佐治・米山



救急員【養成】講習会

救急法基礎講習を修了した方を対象とした、より詳しく「救急法」の知識や技術を身につける講習会です。

1. 日 程 6月30日(日)・7月6日(土)の全2日間
9時～17時30分まで
2. 場 所 下伊那赤十字病院 防災会議室
3. 内 容
 - ・急病の手当
 - ・けが、傷の応急手当（止血・包帯）
 - ・骨折などの固定法
 - ・搬送など
4. 定 員 30名
5. 対 象 満15歳以上の方
6. 資 格 最後日の検定試験に合格した方に、
「救急法救急員認定証」（5年有効）を発行
7. 費 用 1,700円（教材費、保険料）
8. 持ち物 実技のできる服装、筆記用具、昼食
9. 申し込み、問い合わせ先
別紙申込み書にて6月21日(金)までにお申し込みください。
(FAX可)
下伊那赤十字病院（松川町元大島 3159-1）
TEL 0265-36-2255 / Fax 0265-36-7210
検査課 有賀
医療社会事業課 佐治・米山



日本赤十字社

下伊那赤十字病院 〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島 3159-1 TEL0265-36-2255（代表）FAX0265-36-2256

<http://shimoina.jrc.or.jp/>

発行：医療社会事業部